

現在位置 : [トップページ](#) > [くらしの情報](#) > [市民参加・市民活動](#) > [流山市民活動公益事業補助金](#) > [市民活動団体公益事業補助金認定事業](#)

## 市民活動団体公益事業補助金認定事業

更新日 平成29年7月29日

### 平成29年度流山市公益事業補助金に応募のあった8事業の公開審査会を行いました

協働まちづくりの実現に向けて、公共の一翼を担う自主的な市民公益事業に対し助成する「流山市民活動団体公益事業補助金」に、平成29年度は8事業の応募があり、4月8日（土）、生涯学習センターを会場に公開審査（協働まちづくり提案調整会議）を行った結果、8事業を補助金認定事業と決定いたしました。

各団体が創意工夫を凝らして進める事業に、どうぞ皆さんご参加下さい。

### 平成29年度流山市民活動団体公益事業補助金の認定事業一覧

	事業名	団体名	【目的】・概要
1	市野谷の森公園予定地生物多様性保全事業	特定非営利活動法人NPOさとやま	<b>【環境保全】</b> オオタカの住む市野谷の森公園予定地において自然観察会やさとやま塾などのイベントを実施し、自然とのふれあいの素晴らしさを実感してもらうことによって、市野谷の森の適正な利用とオオタカやノウサギやキンランなどの貴重動植物の保全を市民に呼びかけ、公園開設前に予定地の生物多様性が損なわれないようにする。 <b>（継続事業：3年度目）</b>
2	まちづくり人養成塾・流山キャンパス（MBS）運営事業	まちネット流山	<b>【まちづくり】</b> 地域の課題や社会の矛盾を感じるのみならず、その解決に向け歩みだそうとする市民を発掘育成すること。 <b>（継続事業：3年度目）</b>
3	笑いヨガdeピンピンコロリ事業	笑いヨガ de PPK in 流山	<b>【福祉の増進】</b> 笑いヨガを用いて 1：介護予防・認知症予防・閉じこもり予防・ストレス解消になる場を提供する。 2：笑いヨガを用いて多世代交流をも促進し、不測の事態の際にスムーズに助け合える顔見知りの増加及び絆づくりを目指す。 <b>（継続事業：3年度目）</b>
4	お一人様シニアのためのいっしょに朝ごはん会	NPO法人東葛地区婚活支援ネットワーク	<b>【福祉の増進】</b> シニア同士及び多世代の支えあいにより一人暮らしやシングルのシニアのコミュニティ作りと食事・生活リズム改善に繋げ、地域の誰もが健康で

			<p>安心し、生きがいを持って活躍できる成熟した地域づくりに貢献する。</p> <p><b>(新規事業)</b></p>
5	流山オープンデータラボ	Code for NAGAREYAMA	<p><b>【情報化社会の発展】</b></p> <p>流山市が公開をしているオープンデータを利用し、積極的に市民自治に関っていく市民が増えることを目的とし、本年、市の課題や魅力を発見・分析し、子ども達へ教える、まとめを発表する機会を設けることにより、知識の定着と伝達手法の習得により、広い層に流山の情報を届けることを目標とする。</p> <p><b>(新規事業)</b></p>
6	終末期に備えて、医療と介護をともに考えましょう	NPO法人流山高齢者安心ネット	<p><b>【福祉の増進】</b></p> <p>「終末期に対して、どう備えていいかわからない」高齢者の方々のために、現場の声（医師、ケアマネ、高齢者施設経営者、施設従事者等々）を聞く場、具体的な知識と情報を得る場、自分の希望を認識する場、同じ年代の方々の意見を交換する場（ワークショップ）を提供し、医療と介護の両面から、終末期に備えるための啓発活動を行っていきたい。</p> <p><b>(新規事業)</b></p>
7	プラチナライフを応援する！ 高齢者向けフリーペーパー 「BUCK UP」発行事業	特定非営利活動法人ライズ アップ女性サポート実行委員会	<p><b>【福祉の増進】</b></p> <p>高齢者の心と体の健康に役立つ情報を発信し、さびない心と体のためのプラチナライフの実践をPRし、介護予防の一助とする。また高齢化を「いつかは誰でも通る道」ととらえ、出来ることで貢献していくボランティアの重要性とノウハウを広くわかりやすく伝える。</p> <p><b>(新規事業)</b></p>
8	小学4年生以上の夏の居場所に関する啓発・研修事業	ナツイエ	<p><b>【子どもの健全育成】</b></p> <p>「小学4年生以上の夏の居場所づくり」に関する理解者・協力者・担い手を増やすことを目的とした事業である。</p> <p>子ども達は、さまざまな体験や、人間関係構築をすることにより、チャレンジする心が養われる『豊かな経験』ができる場所が必要である。去年夏に行った「小学4年生以上の夏の居場所づくり」の実証実験での成果をもとに、1.講演および、様々な場所で同様の事業が開催できるような講座の開講、2.実施体験、3.成果発表を行うことを目標とする。</p> <p><b>(新規事業)</b></p>